

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 淑徳福祉会

特別養護老人ホーム淑徳共生苑
淑徳共生苑短期入所生活介護事業所
淑徳共生苑通所介護事業所
淑徳共生苑認知症対応型通所介護事業所
淑徳共生苑居宅介護支援事業所
淑徳おゆみ診療所
千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

目 次

1. 総括	1
2. 役員会開催報告	2
3. 職員配置・入退職状況	4
4. 施設内・外研修参加報告	5
5. 実習・施設見学実施報告	7
6. 年間行事及び地域交流報告	8
7. 各事業別報告	
7-1. 特別養護老人ホーム	9
7-2. 短期入所生活介護事業所	16
7-3. 通所介護事業所・認知症対応型通所介護事業所	17
7-4. 居宅介護支援事業所	18
7-5. 淑徳おゆみ診療所	19
7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘	20
7-7. 千葉市生活支援コーディネーター	22

1. 総括

令和3年度事業計画における法人の基本方針は、①経営組織のガバナンスの強化②事業運営の透明性の確保、③職員の待遇改善と人材の育成及び安定確保、④淑徳大学との連携強化、⑤地域・社会貢献活動への取組みであった。

組織のガバナンス強化及び運営の透明性の確保については、法人全体としてそれぞれの部門が協力・連携を自然に図れることを目標としたが、周知徹底が不十分であったことや昨年度に引き続いた新型コロナの影響や2月のクラスター対応等も重なり、厳しい結果であったと言わざるを得ない。特養、ショート、通所、認知の各部門の稼働率が目標に達せず、2年連続の赤字決算となってしまった。

待遇改善、人材育成等については、昨年に引き続き働き方改革を推進し、120日休日確保、新ハラスメント規定、新型コロナ対応特別休暇、育休復帰プラン、男性の育児休暇取得等を実現した。また、ユニットにおける指導マニュアルを策定し、新人教育及び人材育成に活用できる体制ができあがった。採用については、不定期ではあったが、常勤職員の不足は解消し、安定した採用ができた。

淑徳大学とは、コロナ下でも実施できる実習方法を一緒に検討し、共生苑や大学を会場として希望された実習のすべてを実施することができた。また、大学の先生を講師として招聘する研修会を複数回実施し、職員の知識理解を深めることができた。大学からの4年度新規採用者2名を育て、さらに実習の精度を上げつつ連携強化にむけて取組み続けたい。地域・社会貢献では、引き続き障害者委託訓練の受託や千葉県高等学校福祉教育部会との連携、新たに千葉家庭裁判所の通所型補導委託訓練を受託して第一回を実施した。実施に当たっては、淑徳大学生と一緒に当苑で活動する今までにない形での訓練方式を取り入れて行った。

コロナとの共存の中、ご入居者様、ご利用者様、ご家族様が安心できる施設運営と収益改善計画に基づく長期展望の下、事業改善に取り組んで行きたい。

2. 役員会開催報告

理事会開催報告

回	期日	出席理事	出席監事	報告事項及び議案	
第1回	6月8日	6名	2名	第1号議案	令和2年度事業報告、決算報告について
				第2号議案	定時評議員会の招集について
				第3号議案	次期役員等選任（案）について
				第4号議案	評議員選任・解任委員会の招集について
				第5号議案	次期評議員選任（案）について
				第6号議案	淑徳おゆみ診療所 CT スキャナー選定について
				第7号議案	淑徳共生苑給食委託業者選定について
				第8号議案	給与規程の一部変更について
				第1号報告	業務執行状況について
				第2号報告	事業執行状況について
				第3号報告	淑徳共生苑・淑徳おゆみ診療所の現況について
第2回	6月23日	6名	2名	第1号議案	社会福祉法人淑徳福祉会理事長（代表理事）の選定について
				第2号議案	社会福祉法人淑徳福祉会業務執行理事の選定について
第3回	9月22日	6名	2名	第1号議案	令和3年度第一次補正予算（案）について
				第2号議案	就業規則等の変更について
				第3号議案	経理規程の変更について
				第1号報告	業務執行状況について
				第2号報告	会計執行状況について
				第3号報告	事業執行状況について
				第4号報告	淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について
				第5号報告	淑徳共生苑だより第53号について
第4回	12月9日	6名	2名	第1号議案	令和3年度第二次補正予算（案）について
				第1号報告	業務執行状況について
				第2号報告	会計執行状況について
				第3号報告	事業執行状況について
				第4号報告	淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について

第5回	3月11日	6名	2名	第1号議案	令和3年度第三次補正予算（案）について
				第2号議案	令和4年度事業計画（案）について
				第3号議案	令和4年度当初予算（案）について
				第4号議案	社会福祉法人淑徳福祉会定款変更（案）について
				第5号議案	経理規程の一部改定について
				第6号議案	給与規程の一部改定について
				第7号議案	役員人事、施設長人事（案）について
				第8号議案	永年勤続表彰（案）について
				第1号報告	業務執行状況について
				第2号報告	事業執行状況について
第6回	3月11日	6名	2名	第3号報告	淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について
				第4号報告	淑徳共生苑報告事項について

評議員会開催報告

回	期日	出席評議員	出席監事	報告事項及び議案	
第1回	6月23日	7名	2名	第1号議案	令和2年度事業報告、決算報告について
				第2号議案	社会福祉法人淑徳福祉会新役員等選任について
第2回	3月11日	6名	2名	第1号議案	淑徳共生苑施設長の定年退職について
				第2号議案	理事（業務執行理事）の退任について
				第3号議案	淑徳福祉会定款変更（奨学金事業創設）について
				第1号報告	淑徳共生苑・淑徳おゆみ診療所の現況について
				第2号報告	淑徳共生苑の状況について

3. 職員配置・入退職状況

(令和4年4月1日現在)

特養（短期入所含む）定員100名（短期10名）

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
施設長（兼務）	1	1	-
生活相談員	2	3	-
看護師（兼務）	3	5	1
介護職員	34	53	11
管理栄養士	1	1	-
介護支援専門員	1	1	-
医師	1	1	-
機能訓練指導員	1	1	-
事務長	-	1	-
事務員・庶務員	-	3	1
宿直員	-	3	3
計	44	73	15

通所（認知症対応型含む）定員26名（認知症対応型6名）

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	2	(2)	-
生活相談員	2	3	-
看護師	1	3	2
介護職員（兼務）	4	9(2)	6
運転手	-	3	3
計	9	18	8

居宅介護支援事業所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	1	(1)	-
主任介護支援専門員	-	1	-
介護支援専門員	1	2	-
計	2	3	0

診療所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
医師	1	2	1
看護師	-	2	2
事務員	-	2	1
放射線技師	-	1	1
薬剤師	-	2	2
計	1	9	7

あんしんケアセンター松ヶ丘

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	1	(1)	-
保健師・看護師	3	3	-
主任介護支援専門員	3	3	-
社会福祉士	3	4	-
事務員	2	2	1
生活支援コーディネーター	1	1	-
介護支援専門員	-	1	-
計	13	14	1

職員入退職状況（令和3年度中）

職種	入職	有期↔無期、正規雇用	退職
正規雇用職員	6	1	7
無期契約職員	0	0	0
有期契約職員	6	0	10
計	19	2	17

4. 施設内・施設外研修参加報告

内部研修

月	日付、内容、人数	
5月	25日	リーダー・サブリーダーの役割について 9名
	27日	基礎力開発研修 1人にかかる力を基礎から高めよう 13名
6月	17日	虐待防止・身体拘束廃止について※ 10名
7月	16日	食中毒について※ 13名
	22日	基礎力開発研修 基礎となるお互いを大切にする関係
8月	20日	口腔ケア研修※ 11名
9月	17日	感染症・感染症対策について※ 8名
	30日	尊厳を守る—相手の気持ちを理解することから 11名
10月	22, 28日	喀痰吸引について※ 10名
11月	19日	認知症の理解について※ 10名
12月	17日	緊急時対応について 9名
1月	21日	虐待防止・身体拘束廃止について※ 9名
	28日	事故対策・リスクマネジメントについて※
3月	28日	介護現場でのプライバシー保護※ 10名
	31日	終末期ケアについて 9名
※資料を職員全体に周知		計 132名

外部研修

月	日付、内容、参加人数	
4月	16日	千葉市生活コーディネーター研修 1名
5月	21日	千葉県社会福祉協議会介護報酬改定研修 1名
	21日	千葉市立青葉病院在宅医療コーディネーター研修会(～10月21日) 1名
6月	1日	全国老人福祉施設協議会安全対策担当者養成研修 1名
	12日	千葉県主任介護支援専門員ネットワーク介護報酬改定の具体的対応 1名
	18日	認知症についての知識 1名
	18日	千葉市社会福祉協議会認知症介護基礎研修 1名
	18日	千葉市認知症地域推進員全体会兼研修会 2名
	24日	千葉県介護支援専門員更新研修II(～8月20日) 1名
7月	16日	千葉県労働局改正女性活躍推進法説明会 1名
8月	23日	千葉市老人福祉施設協議会高齢者権利擁護身体拘束廃止新任職員研修(～24日) 1名
	26日	千葉県生活支援体制整備事業に係る生活支援コーディネーター養成研修会 1名

	27日 千葉市フレイル予防研修	1名
	30日 千葉県公安委員会安全運転管理者研修	1名
9月	1日 福祉の教室ほっと俱楽部医療的ケア（痰吸引）	1名
	9日 国際厚生事業団集合研修（～10日）	1名
	9日 千葉市社会福祉協議会認知症介護基礎研修（～11月）	1名
	10日 千葉県キャラバンメイトスキルアップ研修	3名
	11日 千葉市中央区80・50を考える会8050問題を考える	1名
	11日 千葉県介護支援専門員協議会BCP作成研修	1名
	15日 千葉県地域包括・在宅介護支援センター協会地域包括支援センターの役割及び期待他（～16日）	1名
	16日 認知症介護研究研修東京センター認知症地域支援推進員研修（現任者）	1名
	17日 千葉市老人福祉施設協議会科学的介護情報システム研修	2名
	17日 パラマウントベッド株式会社床ずれ対策WEBセミナー	2名
	17日 千葉市社会福祉研修センターケアマネ実務の再点検	1名
	18日 千葉県医師会ノーリフトケア研修会	1名
10月	13日 千葉市地域包括ケア推進課いなげまちづくり研修会	1名
	15日 千葉市成年後見支援センター権利擁護が必要な方と気づきと対応	1名
	16日 株式会社ホットラインワールド医療的ケア教員研修	1名
	21日 千葉東病院地域連携の会	1名
	21日 千葉県地域ケア会議に係る市町村研修会	1名
	22日 公益法人協会社会福祉法人会計セミナー予算・実践編	2名
	26日 千葉県認知症サポートステップアップ講座指導者養成研修	1名
11月	12日 千葉県介護専門員更新研修前期（～2月20日）	1名
	20日 千葉県社会福祉士会社会福祉士実習指導者講習会（～21日）	2名
	24日 千葉県運営適正化委員会福祉サービス苦情解決研修会（～12月22日）	3名
	24日 福祉の教室ほっと俱楽部実務者研修（～12月22日）	1名
	25日 全国老人福祉施設協議会全国老人福祉施設大会（山口）	1名
12月	1日 千葉市老人福祉施設協議会高齢者権利擁護身体拘束廃止専門実践研修（～3日）	1名
	14日 千葉市原地域行政対象暴力対策協議会行政対象暴力対策研修会	1名
	15日 千葉県介護支援専門員更新研修（実務未経験者）（～3月25日）	1名
	17日 千葉市成年後見支援センター権利擁護が必要な方と気づきと対応	2名
1月	14日 独立行政法人福祉医療機構会計実務セミナー	2名
	24日 千葉市社会福祉研修センターケアマネジメント実践力強化セミナー	1名
2月	4日 千葉県高齢者虐待防止対策研修	3名
3月	5日 千葉県介護支援専門員協議会R3年度介護報酬改定明確化	1名
	15日 千葉県福祉ふれあいプラザ介護予防担当者研修会	2名
		計 60名

5. 実習・見学実施報告

月	日程	学校・学部名等	内容	人数
4月	5日～5月12日	東京通信大学	相談援助実習	1名
	21日～3月31日	淑徳大学大学院	心理実践実習	1名
5月	12日～20日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	7名
	18日～20日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	4名
7月	8日	淑徳大学大学院	臨床心理実習	9名
	26日～8月13日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助（施設現場）実習（3年生）	5名
	26日～8月16日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助（地域包括）実習（3年生）	2名
	27日～8月10日	淑徳大学短期大学部	介護実習	1名
8月	16日～9月10日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助（施設現場）実習（3年生）	2名
	23日～9月10日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助（地域包括）実習（3年生）	5名
9月	6日～24日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助（施設現場）実習（3年生）	4名
10月	4日～11月13日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習（導入実習）10グループ	166名
	7日～3月31日	淑徳大学大学院	心理実践実習	1名
	8日・15日	淑徳大学看護栄養学部	管理栄養士給食臨地実習	30名
11月	24～29日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	4名
12月	6日～10日	城西国際大学	教員免許に係る介護等体験	1名
	7日～10日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	4名
	7日～12月10日	淑徳大学大学院	心理実践実習	4名
1月	11日～14日	淑徳大学看護栄養学部	老年看護学実習	4名
	18日～3月18日	淑徳大学総合福祉学部	相談援助実習（基礎実習）10グループ	156名
	24日～2月14日	淑徳大学短期大学部	介護実習	2名
2月	21日～3月10日	東京福祉専門学校	介護実習	1名
				計 414名

6. 年間行事及び地域交流報告

月	日付	場所	行事	内容
4月	23日	月影堂	降誕会	お釈迦様の誕生を祝う宗教行事
5月	26日	苑内	消防訓練	定期の避難訓練等
6月	27日	苑内	家族会役員会	会計監査・今後の活動について
7月	～7日	苑内	七夕	竹を用意し、苑内に短冊を設置
8月	6日 19日	月影堂 苑内	盂蘭盆会 千葉県「働き方改革」推進事業 アドバイザー派遣事業	宗教行事 職場内働き方改革の取組 アドバイザー派遣事業
9月	15日	苑内	敬老会	敬老のお祝い
12月	3日 24日	月影堂 苑内	成道会 千葉県高校福祉教育部会見学	お釈迦様のお悟りを祝う宗教行事 高校介護技術コンテスト下見
2月	3日 9・10日	地域 苑内	大巖寺節分 補導委託訓練	地域の節分行事 千葉家庭裁判所への協力

※ 令和2年度に引き続き、新型コロナ感染症の影響によってこれまで実施してきた活動及びボランティアなどを中止にさせていただきました。

7. 各事業別報告

7-1. 特別養護老人ホーム

年間稼働率

月	延べ人数						稼働率
	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4月	30	48	484	912	1,060	2,534	93.9%
5月	31	31	496	961	1,151	2,670	95.7%
6月	30	30	480	937	1,075	2,552	94.5%
7月	31	0	578	937	1,060	2,606	93.4%
8月	31	0	605	901	1,085	2,622	94.0%
9月	30	0	570	930	1,066	2,596	96.1%
10月	31	0	589	941	987	2,672	95.8%
11月	30	0	571	921	1,004	2,526	93.6%
12月	31	0	651	970	1,017	2,669	95.7%
1月	0	31	616	1,039	1,029	2,715	97.3%
2月	0	28	573	924	911	2,436	96.7%
3月	0	31	572	1044	929	2,576	92.3%
計	275	199	6,785	11,417	12,374	31,174	(平均) 94.9%

性別・要介護度別入居者数 (数値は月末時点)

月	介護度 1		介護度 2		介護度 3		介護度 4		介護度 5		合計	平均 介護度
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
4月	0	1	0	1	4	13	4	27	5	31	86	4.16
5月	0	1	0	1	4	12	4	27	5	33	87	4.20
6月	0	1	0	1	4	12	4	28	4	30	84	4.15
7月	0	1	0	0	4	15	3	28	4	29	84	4.13
8月	0	1	0	0	5	15	2	28	4	31	86	4.13
9月	0	1	0	0	5	14	2	29	4	32	87	4.16
10月	0	1	0	0	5	14	2	27	4	32	85	4.16
11月	0	1	0	0	5	15	2	29	4	30	86	4.13
12月	0	1	0	0	5	16	4	28	4	29	87	4.10
1月	0	0	0	1	4	15	4	29	5	29	87	4.15
2月	0	0	0	1	4	15	4	29	4	27	84	4.12
3月	0	0	0	1	3	15	5	28	3	26	81	4.11
計	0	9	0	61	52	171	40	337	50	26	359	4.14

年齢・性別構成 (3月末時点)

-	男性	女性	計
60~69 歳	1	1	2
70~79 歳	1	5	6
80~89 歳	2	24	26
90~99 歳	6	36	42
100 歳~	1	4	5
計	11	70	81
平均年齢	90.7 歳	90.0 歳	90.1 歳

入所状況

No	日付	性別	年齢	入所前の居所
1	R3. 4. 21	男性	86	医療機関
2	R3. 4. 27	女性	86	居宅
3	R3. 5. 19	男性	88	居宅
4	R3. 5. 31	女性	74	居宅
5	R3. 6. 24	女性	77	老健
6	R3. 7. 12	女性	93	老健
7	R3. 7. 13	女性	93	医療機関
8	R3. 7. 26	女性	84	有料
9	R3. 8. 16	女性	100	居宅
10	R3. 8. 30	女性	84	居宅
11	R3. 9. 15	女性	88	老健
12	R3. 11. 2	女性	90	居宅
13	R3. 11. 8	女性	91	居宅
14	R3. 11. 9	女性	85	GH
15	R3. 11. 25	男性	92	居宅
16	R3. 11. 30	女性	83	居宅
17	R3. 12. 14	男性	93	医療機関
18	R3. 12. 16	女性	93	居宅
19	R3. 12. 21	女性	78	居宅
20	R3. 12. 23	男性	90	老健
21	R4. 1. 12	女性	82	居宅
22	R4. 2. 1	男性	100	居宅
23	R4. 3. 9	男性	69	居宅
24	R4. 3. 14	女性	96	居宅

退所状況

No	日付	性別	年齢	退所事由
1	R3. 5. 21	男性	92	死亡(施設)
2	R3. 6. 8	女性	85	死亡(看取り)
3	R3. 6. 14	女性	88	死亡(医療機関)
4	R3. 6. 16	男性	85	長期入院
5	R3. 6. 17	女性	74	死亡(医療機関)
6	R3. 7. 13	男性	97	死亡(看取り)
7	R3. 7. 18	女性	93	死亡(施設)
8	R3. 7. 19	女性	97	死亡(施設)
9	R3. 10. 12	女性	85	死亡(看取り)
10	R3. 10. 25	女性	102	死亡(看取り)
11	R3. 10. 31	女性	90	死亡(医療機関)
12	R3. 10. 31	女性	97	死亡(看取り)
13	R3. 10. 31	男性	88	死亡(施設)
14	R3. 11. 15	女性	94	死亡(施設)
15	R3. 12. 6	女性	89	死亡(医療機関)
16	R3. 12. 8	女性	93	死亡(看取り)
17	R3. 12. 28	女性	94	死亡(看取り)
18	R4. 1. 29	女性	87	死亡(看取り)
19	R4. 2. 17	男性	96	死亡(医療機関)
20	R4. 2. 21	女性	99	死亡(看取り)
21	R4. 2. 22	男性	87	死亡(医療機関)
22	R4. 2. 24	女性	102	死亡(施設)
23	R4. 3. 12	女性	89	死亡(医療機関)
24	R4. 3. 13	女性	88	死亡(看取り)
25	R4. 3. 14	男性	100	死亡(医療機関)
26	R4. 3. 17	男性	89	長期入院
27	R4. 3. 30	女性	92	死亡(看取り)

在苑期間

期間	男性	女性	計
~5年未満	10	54	64
5年以上~10年未満	0	13	13
10年以上~14年未満	1	3	4
計	11	70	81
平均在苑期間(年)	3.0	3.7	3.6

月例別入院状況

-	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
人数	1	3	6	0	0	0	2	5	5	5	6	3	36	3.0
日数	31	17	25	35	50	26	30	45	53	5	1	50	586	48.8

利用料負担階層

-	人数	2割負担	3割負担
1段階	0	-	-
2段階	11	-	-
3段階①	29	-	-
3段階②	0	-	-
4段階	41	4	1
計	81	4	1

地域状況

-	保険者	計
県内	千葉市中央区	53
	千葉市若葉区	4
	千葉市緑区	8
	千葉市美浜区	3
	習志野市	1
	市原市	6
	勝浦市	1
	市川市	1
県外	東京都品川区	1
	東京都渋谷区	1
	東京都江戸川区	1
	筑西市	1
計		81

認知症高齢者の日常生活自立度

-	人数
I	2
IIa	1
IIb	6
IIIa	10
IIIb	41
IV	18
M	3
計	81

オムツ使用者の実人数

-	人数
日中におけるオムツの使用者	77
夜間におけるオムツの使用者	77

施設相談員報告

- ・ 特養の入居様に関しては、在宅サービス（苑内、他事業所も含め）・診療所・受け入れユニットとの連携を図り、入居者様の個別的な生活を維持できるよう努め、尊重したケアを入居後も行うようにした。
- ・ 新型コロナウィルス感染症の発生や看取り対象者の増加もあり、1カ月で5名ほどの退所者が続く状況があった。入所受入をスムーズにするため、入所申込受付の後すぐに調査をして、入所検討委員会で検討するようにした。また、必要時には臨時に検討委員会を開き新規入所者数の確保に努めた。しかしながら、退所数の増加に入所が間に合っていない状態であった。今後は各事業所との連携強化を図り安定した稼働ができるようにしていく。
- ・ 各委員会の担当や役割の各職員に振り分けについては、役職に縛られない委員長・副委員長体制を実施することで、報告会のような委員会からメンバー一人一人が協議できる委員会となるように努めた。
- ・ コロナ禍の中で入居者様の生活の質を維持するため、ユニット内で実施できるレクリエーション・活動の工夫を行い実施した。
- ・ 新型コロナウィルスの流行に伴い引き続き、各行事、ボランティアの受け入れに関しては全体行事の延期や中止、ボランティア活動も受け入れ中止となった。
- ・ 令和4年2月に特養内でも入居者様、職員の中で（1ユニット）コロナウィルスが発生した。各事業を休止することなく、感染拡大の防止に苑全体で対応を図った。職員は順次職場復帰をしたが、罹患した入居者様は、退所となってしまうケースが発生した。
- ・ 次年度も引き続き苑全体で感染症対策の徹底を図り、各事業の安定した稼働ができるようにしていく。

施設看護報告

- ・ 施設医療において、健康に生活できるレベルを保つ事、疾患に対して少しでも苦痛を取り除く事を最優先に考え常勤医師との連携に努めた。
- ・ 健康診断において、健康状態の把握、異常の早期発見に努める事ができている。
- ・ 施設看護体制の中で、医師の指示のもと看護師が出来る範囲の医療を、昨年同様提供できている。
- ・ 肺炎や熱の受診が上位を占めているが、内服中心の治療、また、疾患の程度によって

は、診療所での点滴治療が可能であり、内服と点滴治療でほとんどが回復されており、他への感染もなく至っている（入院者の人数も減少している）。

- ・他職種との情報連携を円滑に行い、必要とされる医療・看護を提供する事ができた。（食事・排泄・睡眠・看取り等）
- ・口腔予防衛生の取り組みとして訪問歯科との情報を共有している。

淑徳おゆみ診療所受診状況

受診内容	延べ人数
整形（打撲・骨折）骨粗鬆症関係	53
肺疾患関係・熱など	65
泌尿器・バルーン関係	24
糖尿・消化器・栄養関係	66
循環器関係	11
頭痛・脳疾患関係	7
処置・皮膚疾患・その他	237
計	463

訪問歯科受診状況

月	診療回数	延べ人数
4月	6	72
5月	6	84
6月	3	24
7月	7	59
8月	7	75
9月	7	66
10月	8	74
11月	9	81
12月	7	57
1月	5	50
2月	1	9
3月	5	62
計	71	713

他医療機関受診状況

診療科	延べ人数
内科	9
神経内科・精神科	11
眼科	7
癌関係	2
皮膚科	62
ペースメーカー管理	2
耳鼻科	4
整形外科	20
胃瘻	5
泌尿器科	1
脳外科・外科	4
循環器	15
計	142

- ・喀痰吸引（主に口）5名
- ・経管栄養 5名
- ・ペースメーカー 1名
- ・膀胱瘻 1名

(感染症対策委員会活動)

4月

- ・ 感染症対策

5月

- ・ 感染症対策
- ・ 熱中症予防に関して放熱の工夫、負荷を考えての行動等注意を呼びかけ

6月

- ・ 感染症対策
- ・ 熱中症予防に関する提言
- ・ 新型コロナワクチン予防接種 1回目

7月

- ・ 感染症対策
- ・ 熱中症対策
- ・ 新型コロナワクチン予防接種 2回目

8月

- ・ 感染症対策
- ・ 熱中症対策

9月

- ・ 感染症対策
- ・ 熱中症対策
- ・ インフルエンザ予防策

10月

- ・ 感染症対策
- ・ インフルエンザ予防策
- ・ インフルエンザワクチン予防接種

11月

- ・ 感染症対策
- ・ 疥癬感染者発生

12月

- ・ 感染症対策
- ・ 疥癬感染者発生

1月

- ・ 感染症対策
- ・ 疽癬感染者発生

2月

- ・ 感染症対策
- ・ 新型コロナウイルス感染者発生
- ・ 理美容業者・訪問歯科受け入れ中止、移動販売・涅槃会中止

3月

- ・ 感染症対策強化
- ・ 新型コロナワクチン予防接種 3回目
- ・ 面会はオンライン面会
- ・ 疽癬終息
- ・ 3月4日 新型コロナウイルス終息
- ・ 新入職員感染症研修会

7-2. 短期入所者生活介護事業所（ショートステイ）

今年度も例年取り組んでいる、ご利用者様が日々穏やかに生活できる環境作りを継続的に行い、居室内環境の見直し、生活の場所としてのリビングのしつらえの設定（テーブル・ソファ・テレビなどの配置の仕方）を検討し、ご利用者様が快適に過ごせる居場所作りに取り組み、定期的にご利用されるご利用者様の方々は徐々に施設内の環境にも慣れてきたようであった。しかし、ご利用者様お一人ひとりに職員が関わることができる時間は限られているため、居室で過ごす時間が長い方も日中はリビングで過ごしていただけるよう声かけし、職員が仲介役となりレクリエーションや体操を通じ交流を図ることで全体的に見守りを行えるよう工夫した。

この2点の取り組みを継続したことにより、しばらくするとご利用者様同士がお部屋を行き来し、声をかけあいリビングで過ごす時間が増え、関係の構築もみられ、徐々に余暇活動を楽しまれる姿が増えてきた。

今年度は、冬の感染症の流行時期でも感染症等に罹患するご利用者様はいなかつものの、同施設内の特養などの状況を確認し、実際にはサービスのご利用を控えるご利用者様もいた。次年度も、在宅のケアマネジャーと多職種とのさらなる連携を図り、また、共生苑デイサービスとの利用者情報の共有を図り、食事・排泄・入浴などの基本的な部分で介助に変化がないように努め、次年度もご利用者様が穏やかに生活できる環境を考え、安全に効率よく運営できるよう取り組んでいきたい。

年間稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	0	0	16	44	30	60	70	220	73.3%
5月	0	0	2	43	27	73	58	203	65.5%
6月	0	0	2	41	24	123	10	200	66.7%
7月	0	0	8	42	35	137	14	236	76.1%
8月	0	2	6	39	55	130	16	246	79.4%
9月	0	3	11	22	53	111	16	213	71.0%
10月	0	0	16	31	63	123	27	260	83.9%
11月	0	0	18	33	69	103	18	241	80.3%
12月	0	0	19	33	60	103	18	233	75.2%
1月	0	0	18	32	80	104	17	251	81.0%
2月	0	0	6	30	88	68	12	204	72.9%
3月	0	0	15	34	98	56	12	215	69.4%
計	0	5	137	424	682	1,191	288	2,722	74.6%

7-3. 通所介護・認知症対応型通所介護事業所（デイサービス）

令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な制約を受けながらの事業運営となつた。

その中で、畑や花壇での農作業を継続して実施し、花や作物に触れて頂く事で、季節を感じて頂けるサービスを提供することができた。

感染防止の観点においても、換気・消毒など昨年から続いている対策を継続して実施した。夏・冬は空調の観点でご利用者様にご不便を掛けてしまった。

しかし、感染対策を実施してはいたものの、認知症対応型通所介護のご利用者様2名が新型コロナに罹患されてしまい、職員も4名が濃厚接触者に認定されてしまった。その為、2月15日～19日にかけて営業停止や利用の制限をせざるを得なかつた事、ご利用者様の利用終了になつてしまつた事が悔やまれる。

来年度は引き続き感染症対策を継続するのは勿論だが、安定した営業を続ける事・利用者獲得を目標に事業を継続したい。

一般型デイサービス年間稼働率

月	延べ人数						稼働率
	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	120	141	51	16	0	328	63.00%
5月	106	149	74	14	0	343	65.90%
6月	113	147	72	17	0	349	67.10%
7月	145	146	75	24	0	390	72.20%
8月	131	120	71	22	0	344	66.10%
9月	139	111	92	23	0	365	70.10%
10月	151	106	92	19	0	368	70.70%
11月	147	104	53	16	0	320	61.50%
12月	149	92	47	6	0	294	61.50%
1月	153	95	48	13	0	309	64.30%
2月	115	65	52	11	0	243	50.60%
3月	189	83	61	13	0	346	64.00%
計	1,658	1,359	788	194	0	3,999	64.75%

認知症対応型デイサービス年間稼働率

月	延べ人数						稼働率
	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	0	0	16	56	11	83	53.20%
5月	0	0	13	51	12	76	48.70%
6月	0	0	16	46	11	73	46.70%
7月	0	0	26	51	12	89	54.90%
8月	0	8	24	46	11	89	57.00%
9月	0	9	26	42	11	88	56.40%

10月	0	12	23	47	11	93	59.60%
11月	0	16	41	54	11	122	78.20%
12月	0	16	39	48	6	109	75.60%
1月	0	13	38	49	9	109	75.60%
2月	0	9	31	29	2	71	50.30%
3月	0	7	51	18	14	90	55.50%
計	0	90	344	537	121	1,092	59.31%

7-4. 居宅介護支援事業所

昨年に引き続き、特定事業所加算Ⅲを算定。

千葉県介護支援専門員実務研修実習生1名受け入れ。コロナの感染が増加したことで、認定調査は、施設内や担当者がいる施設とした。研修は、できる限りコロナの影響のない形での参加とした。

実績

月	職員数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
4月	3	7	8	38	15	8	6	3	85
5月	3	6	9	39	15	8	5	4	86
6月	3	5	9	42	16	8	8	4	92
7月	3	5	9	43	19	8	7	5	96
8月	3	5	9	44	19	10	8	4	99
9月	3	6	8	45	18	9	8	4	98
10月	3	4	9	46	19	9	8	4	99
11月	3	4	9	46	19	8	9	4	99
12月	3	5	11	46	17	8	8	4	99
1月	3	5	11	46	17	9	9	3	100
2月	3	5	11	41	17	9	9	3	95
3月	3	4	10	45	16	8	8	5	96
計	-	61	113	521	207	102	93	47	1,144

登録者状況（3月末時点）

登録者数

性別	予防給付	介護給付	計
男性	6	28	34
女性	7	61	68
計	13	89	102

登録者世帯状況

世帯	人数
独居	24
夫婦	29
子ども世帯同居	47
他親族同居	2
計	102

認定調査受託

受託件数	保険者
11 件	千葉市若葉区 2 件 美浜区 2 件 船橋市 2 件 市原市 1 件 館山市 1 件 南房総市 1 件 八千代市 1 件 鎌倉市 1 件

研修等参加

月	日程・内容・参加人数
5月	10 日 浜野圏域ケアマネジャー連絡会 3名 (令和 2 年度集団指導について。令和 3 年度 4 月報酬改定について) 21 日 令和 3 年度介護報酬改定研修 ※Zoom 1 名 在宅医療コーディネーター研修会（1回目）※Zoom 1 名
6月	18 日 在宅医療コーディネーター研修会（2回目）※Zoom 1 名 28 日 浜野圏域「認知症に優しいまちづくり」検討会 1 名 30 日 浜野圏域事例検討会（事例提供・検討会運営を担当） 介護支援専門員更新研修専門課程 II
7月	16 日 在宅医療コーディネーター研修会（3回目）※Zoom 1 名 介護支援専門員更新研修専門課程 II
8月	20 日 在宅医療コーディネーター研修会（4回目）※Zoom 1 名 23 日 浜野圏域「認知症に優しいまちづくり」検討会 1 名 介護支援専門員更新研修専門課程 II
9月	17 日 在宅医療コーディネーター研修会（5回目）※Zoom 1 名
10月	6 日 苑内研修 3 名 11 日 浜野圏域事例検討会 3 名 22 日 在宅医療コーディネーター研修会（6回目）※Zoom 1 名
12月	13 日 高齢者虐待防止研修（あんしんケアセンター浜野圏域）3 名 17 日 ナーラ蘇我主催 地域会議 ※Zoom 1 名
1月	18 日 浜野圏域事例検討会 3 名
2月	1 日 あんしんケアセンター浜野意向調査 ※Zoom 3 名

7-5. 淑徳おゆみ診療所

実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ患者数	880	781	948	1022	944	849	1022	940	930	797	749	1017	10879
うち入居者関連	301	256	294	273	334	310	315	318	306	276	300	317	3600
うち予防接種等	92	41	241	325	169	100	269	192	136	74	52	226	1917

7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

新型コロナウイルス感染症により自粛、縮小していた活動も『まん延防止等重点措置』が適用される中、感染予防・防止対策を徹底し、十分な検討と地域の方との協議のうえで再開した。活動の方法も地域の実情を考慮し、各種チラシやパンフレット等の配布、オンラインの活用など、新たな試みやできる範囲での支援を行った。あんしんケアセンターの活動が止まらないように、各自が感染対策を行い、PCR検査も定期的に実施して、相談窓口としての機能の継続に努めた。具体的には下記のとおり実施した。

1. 地域包括ケアシステムの構築

(1) 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の促進

- ・ 移動販売事業者、生活支援コーディネーターと連携し、販売場所に来られた高齢者や千葉中央警察署の移動交番と連携し、圏域内スーパーマーケットの来客者に対してあんしんケアセンターの周知や介護予防に資するパンフレットを配布した。
- ・ センターで運動と脳トレを合わせた介護予防活動やオンラインによる交流会を実施し、人と人との繋がりを創出した。
- ・ 大巣寺地区住民よりラジオ体操の集まりを開催したいとの相談があり、実際的な開催方法とともに検討した。

(2) 在宅医療・介護連携の推進

- ・ 圏域内居宅介護支援事業所へ「訪問診療」についてのアンケートを実施し、日頃お付き合いのある訪問診療やその特徴について情報収集を図った。
- ・ ケアマネサロンで「在宅医療と介護の連携～訪問診療クリニック～」という研修会を開催し、クリニックの方からの講演と医療情報の交換会を実施した。
- ・ 「歯科との連携～オーラルフレイルの基礎知識・歯科の視点で多職種連携を考える～」を開催し、フレイルの入り口であるオーラルフレイルについて学び、連携について考える会議を開催した。

(3) 認知症施策の推進

- ・ 認知症カフェ（淑徳オレンジカフェ）に生活支援コーディネーターとともに毎月参加した。
- ・ 認知症サポーター養成講座を7回実施、認サポキッズは圏域内中学1年生を対象に4か所で実施した。

- ・ 認知症推進員活動としてみかんの会（チームオレンジ、ステップアップ講座）の班活動に参加した。
- ・ 認知症初期支援チーム、若年性認知症コーディネーターと連携し支援を行った。

2. 第1号介護予防支援事業

- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況がなかなか好転しない中、感染症対策に十分な配慮をし、介護予防・日常生活支援事業の利用者に対し、セルフマネジメントができるよう支援した。
- ・ 利用者の課題をともに確認し、現在の情勢の中でも設定した目標が達成できるようインフォーマルサービス等を提案した。
- ・ 新たな集いの場への参加は難しい状態であるため、感染予防対策が確立している既存の集いの場への参加を活用するよう支援した。

3. 総合相談支援

- ・ 生活支援コーディネーターと協力しながら、蘇我コミュニティーセンターと連携し、出張相談会を開催してあんしんケアセンターの周知を行った。
- ・ 毎朝のミーティングや月1回の総合相談ミーティングで支援内容の共有検討を行い、困難ケースに関しては別途センター内ケース会議を設け検討した。

4. 権利擁護

- ・ 生活支援コーディネーターと共同し、圏域の全事業者向けに高齢者虐待防止研修を実施した。
- ・ あんしん職員が講師となって任意後見人やエンディングサポートについて講座を開催した。
- ・ あんしんだよりの臨時号で消費者被害を特集して配布するとともに、地域のラジオ体操終了後、千葉中央警察署と連携して、月1回詐欺防止や交通安全について注意喚起を行った。

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ・ ZOOMを活用したケアマネサロン、松ヶ丘圏域多職種連携会議を実施した。同じくZOOMを活用した圏域の特定事業所の主任介護支援専門員が主催した事例検討会の後方支援を実施した。
- ・ 圏域の居宅介護支援事業所の紹介をあんしんケアセンター松ヶ丘広報誌で行った。
- ・ 圏域内外の介護支援専門員から困難事例等の相談を多く受け対応した。

6. 地域ケア会議

- 定期的に開催している地区的地域ケア会議は、自治会長や民生委員と相談し感染対策を行い開催した。
- 地域ケア会議個別ケース会議は、介護支援専門員からの開催要請や相談内容に応じてあんしんからの提案により、特に支援困難と思われるケースについて、事業所の他、警察や成年後見センター、行政等関係機関を交えて開催した。
- コロナで実施できなかった団地については、管理者、行政、住宅公社、自治会長、民生委員を交えて定期的に地域ケア会議を開催し、課題やニーズの把握をした。

7. 一般介護予防事業

- 生活支援コーディネーターと連携し、『セルフケア・介護予防』を周知する地域通信を新たに作成し、高齢化率の高い自治会を中心にポスティングを実施した。
- コロナ禍においても活動している既存の通いの場に出向き、感染予防及び介護予防の普及啓発を図った。
- フレイル予防として、センターに新たに介護予防の取り組み（脳トレ活動・オンラインおしゃべり会）を開始した。
- 生活支援コーディネーターと連携し、地域で新たに立ち上げた介護予防活動に隣接圏域のあんしんケアセンターと共同で、フレイル予防の周知促進を図った。

7-7. 千葉市生活支援コーディネーター

地域への積極的な訪問を心掛け、あんしんケアセンターの周知や関係機関とのネットワークの構築に努めてきた。コロナ禍も2年以上を経過し、地域活動では担い手である役員の高齢化を理由に解散する団体が出てきているが、逆に、高齢者の体力低下や閉じこもりを懸念し、新たに活動を開始させる団体も出てきている。今後は、更にセルフケアの取組みを推進し、また、地域とつながっていくことの重要性について周知を図っていく必要があると感じている。

主な活動

1. 地域のニーズに応じた重点的業務

(1) 生活支援・介護予防サービスの提供状況の把握

例年同様、圏域内の地域資源について調査を実施し、「千葉市の生活支援サイト」にその情報を反映させる。また、Web上で情報を見ることが難しい高齢者もいること

を考慮し、紙媒体による「シニアリーダー体操教室マップ」や「地域ともいき通信」等を配付する。

(2) 生活支援・介護予防サービスの創出

地域住民からの相談で健康麻雀のクラブ立ち上げを支援し、他団体の紹介や活動内容に関する助言を行う。他、各地域にシニアリーダー体操教室新規開設の働きかけを行う。

(3) 支援ニーズの把握

主にインフォーマルサービスに関する相談に対応し、その支援ニーズを把握する。必要な情報の提供を行うとともに各種制度、サービス、支援機関につなぐ。

(4) 担い手の養成

担い手養成のための各種講座（ボランティア講座、認知症サポーター養成講座など）で講師を務める。他、ちばし地域づくり大学校の講座や資料作成に関わる。

2. ネットワークの構築（市や社協、あんしんケアセンター関係機関・団体との連携）

各種各場面であんしんケアセンター三職種や関係機関と連携、協働を図り、様々な地域への働きかけ、支援を行う。今年度より蘇我コミュニティセンターで出張相談会が開始される。

3. 協議体設置に向けた取組み

地域運営委員会や社会福祉協議会の会議に参加し、地域の活動状況やその内容について情報を共有する。他あんしんケアセンター主催の地域ケア会議に参加する。

4. 認知症地域支援推進員の活動

千葉市みかんの会チームオレンジ班で本人ミーティングを開催し、今年度より策定された「千葉市認知症施策推進計画」の重点事業について、その取組みを推進する。